

## 山田大使の東日本大震災追悼式典出席

東日本大震災から10年目となる3月11日、山田大使はスピタク市(1988年に発生したアルメニア大地震の震源地)で開催された東日本大震災の追悼式典に出席しました。同市では、2012年に地元の有志の発意により東日本大震災の犠牲者のためのハチュカル(石の十字架)が建立され、それ以降、毎年3月11日に東日本大震災の追悼式典が開催されています。

追悼式には山田大使のほか、パンプフチャン非常事態省次官、アルメニア使徒教会ハコピャン司教、アスリャン・ロリ州副知事、サハキャン・スピタク市長、ガスパリャン救急隊長、ロリ州救急隊員、スピタクの一般市民が参列し、東日本大震災の犠牲者を追悼するハチュカルに続きアルメニア大地震のハチュカルに献花を行い、両地震の犠牲者に祈りを捧げました。

また、山田大使はパンプフチャン次官等と防災協力つき意見交換を行いました。



東日本大震災慰霊碑



山田大使による挨拶



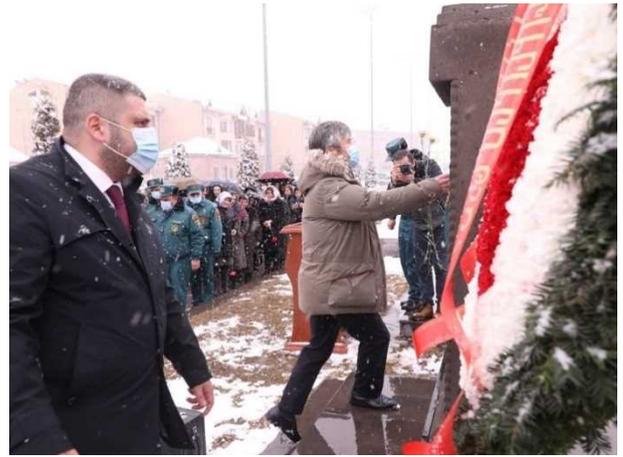
パンプフチャン非常事態省次官による挨拶



ハコピャン司教による挨拶



山田大使による「花は咲く」の演奏



パンプフチャン次官と山田大使による献花



救急隊員とスピタク市民による献花



アルメニア大地震慰霊碑



ハコピャン司教及び救急隊員と



サハキャン市長及び市民の参列者と